

# 日本 EAP 協会 ニューズレター

令和 3 年度 第 2 号

令和 4 年 1 月発行

編集発行：日本 EAP 協会 編集委員会・事務局

会員の皆様

晩冬の候、会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株の第 6 波の猛威に見舞われる中、国内感染者数は 1 月 26 日の時点で、1 日に全国で 7 万 1633 人と過去最高の数字となり、オミクロン株の感染力のすさまじさを実感することとなりました。さらに、すでに従来のオミクロン株に変異を重ねたさらに感染力の強い亜種への置き換わりも確認されつつあり、今後第 7 波への警戒も呼びかけられています。このような中、医療の最前線におられる医療従事者の皆様、およびこのような状況下で社会を支えておられる各業種の皆様には、心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

さて、今号では 7 月 3 日に開催の「令和 3 年度日本 EAP 協会総会・シンポジウム」、および 12 月 15 日に開催の「令和 3 年度第 2 回研修会 EA プロフェッショナルの会オンライン第 1 回」について報告させていただきます。また「会員からの自由投稿ページ」では、日本 EAP 協会事務局長・鈴木圭子先生からの投稿を紹介いたします。

鈴木先生には、今回コロナ禍と従業員支援について大変貴重な投稿をいただきました。EAP に従事する側のサービスもその時々ニーズに合わせた対応が強く求められていることを会員の皆様には情報共有いただけるかと存じます。この場をお借りし厚く御礼申し上げます。

ニューズレターを会員の皆様からの有用な情報や投稿を掲載する場としてぜひ活用いただきたく、掲載希望の情報等ございましたら、ぜひ事務局までご連絡いただけますよう、お待ちしております。

今年も会員の皆様には引き続きご支援ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

\*\*\*\*\*

## 【令和 3 年度日本 EAP 協会第 22 回総会／シンポジウムのご報告】

令和 3 年 7 月 3 日（土）にオンライン（Zoom）にて「令和 3 年度第 22 回総会／シンポジウム」が開催されました。お忙しい中ご参加いただきました 26 名の方々には厚く御礼申し上げます。

### <総会>

令和 2 年度の活動報告および決算、令和 3 年度の活動方針・予算をメインに各役員より説明がなされ、満場一致をもって無事に終了いたしましたことを、ここにご報告させていただきます。

### <シンポジウム（令和 3 年度第 1 回研修会）>

「EAP は新卒採用・教育ができるのか？」というテーマを掲げ、産業医、CEAP、心理教育、外部 EAP の先生方より貴重なご意見、お話を伺いました。経験期間が求められる EAP という職業において、新卒採用やその教育はこれから EAP を目指す方、また EAP 各社にとって重要な課題となっています。各々の立場で、具体的な取り組みをお話いただき、参加者の皆様に交えながら意見交換を行いました。

日本 EAP 協会事務局

〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2 杏林大学医学部衛生学公衆衛生学教室内

TEL：0422-47-5512 内線 3460

Mail：neap@ks.kyorin-u.ac.jp

## ○シンポジウムにご登壇いただきました先生方

1. 産業医教育：産業医教育の立場として 角田 透（日本 EAP 協会会長、杏林大学名誉教授）
2. CEAP：資格認証の立場として 市川佳居（日本 EAP 協会役員、レジリエ研究所（株）代表取締役）
3. 心理教育：大学教育の立場として 内田 知宏（尚絅学院大学准教授）
4. 外部 EAP：現場の声 大谷 裕（(株)保健同人社 健康経営事業部シニアコンサルタント）
5. 外部 EAP：現場の声 中垣 朝子（(株)ジャパン EAP システムズ）

（文責：事務局）

\*\*\*\*\*

## 【令和 3 年度第 2 回日本 EAP 協会研修会のご報告】 【EA プロフェッショナルの会 online 第 1 回】

開催日：2021 年 12 月 15 日（水）Zoom 開催

出席者：15 名（参加者 9 名、研修委員 6 名）

テーマ：「今、産業援助職に求められるもの」



2021 年 12 月 15 日（水）19：30-21：00 に開催された本研修会は、Zoom を使用したオンライン開催となりました。個人会員・賛助会員を含め、9 名の参加者と 6 名の研修委員の全 15 名にご参加頂いております。学生、企業内外の EAP 提供者、企業等人事部門の方々等、多様な背景の方にご参加頂いた回となりました。

「今、産業援助職に求められるもの」をテーマとした全 6 回の連続企画の第 1 回として、「外部 EAP の現場」について、株式会社ジャパン EAP システムズの清野俊充先生（日本 EAP 協会研修委員）より話題提供を頂いています。

清野先生より、最初の話題としては、現在の外部 EAP へのニーズをご紹介頂きました。外部 EAP 提供の顧客となる企業側が注目している健康経営の視点と、関連するワーク・エンゲージメントを取り上げた活動のご説明を頂いています。参加者間でも、外部 EAP への各ニーズ（「健康経営」「プレゼンティーズム」「アブセンティーズム」「ワーク・エンゲージメント」）について、それぞれの経験から、取り組みやアイデアに関するディスカッションを行いました。

続いて、テレワークやコロナ禍といったキーワードから、外部 EAP のお立場で感じる変化に焦点を当て、ラインケアの視点からの今後の健康管理についてご提案を頂きました。参加者間でも、「安心して働ける職場」に関連した体験ワークを行っています。

最後には、外部 EAP として課題感を感じておられる危機管理を話題として頂いています。自死対応のコアコンピタンスをご紹介頂いた上で、参加者間でも各自の知見を共有する機会を頂きました。

全体を通して、外部 EAP のニーズ、今後、難しさに触れながら、参加者が各自の EAP 活動について考える時間を設けることのできた研修となりました。

引き続き、連続の研修の中で、参加者一人一人が多角的に EAP について考え、今後の活動を前進させるきっかけ作りを支えていきたいと考えております。まずはより多くの方にご参加頂けるよう、企画の周知に努めて参ります。

（文責：日本 EAP 協会研修委員）

# コロナ禍と従業員支援—私達が見てきたこと、そしてこれから

日本 EAP 協会 事務局長  
株式会社 保健同人社

鈴木 圭子



日本 EAP 協会会員の皆さま

新しい年を迎え、皆さまそれぞれに次の一年、また将来に向けて思いを新たにされたことと思います。

例えば2年前、2020年の2、3月頃に、今までにないウイルスによる病気が中国で発生して猛威を奮っているという報道を耳にしてから、あっという間に日本でも新型コロナウイルス感染が広まり、4月には第一回目の緊急事態宣言が発令されました。以降、TV、ネットなど公共のメディアで「コロナ」というワードを目にしない日はありません。今年の年頭頃は、日本での新規感染者数が信じられないほどの少ない数で推移し、このままもしかしたらコロナは収束するのでは、という甘い期待を我々に抱かせました。しかし世界各国の感染状況から予想されるとおり、オミクロン株の蔓延によって、これまでにない感染者数・濃厚接触者の急拡大という危機的な状況に直面しています。

私の所属する保健同人社では、法人契約団体の所属員とそこご家族向けに健康相談・メンタル相談の電話/Web相談窓口を提供しています。健康相談は保健師・看護師などの専門職が、365日24時間、いわゆる「生の声」で相談対応をしています。メンタル相談は日曜・深夜早朝を除き、こちらも臨床心理士、精神保健福祉士が対応しています。緊急事態宣言発令時には、万一相談員に罹患者が出れば、相談室全体を閉鎖せざるを得ないという切羽詰まった状況で相談対応をしました。幸い相談員に罹患者が出ることなく、現在に至っています。

コロナ禍となって以降、私共の相談窓口にももちろん、新型コロナウイルスに関連する相談が多く寄せられています。ウイルスが引き起こすのは感染症という身体の病気ですが、寄せられる相談は症状や治療、予防といった健康相談だけではなく、やはり目に見えない脅威であり、私達の生活を脅かし、大きく変えてしまう対象への不安を反映して、メンタル相談も数多くありました。

コロナ禍が始まる前後の2020年1月末から2020年6月末のおよそ5カ月にかけて、「コロナ」に関連した『メンタル相談』の件数は約500件でした。これは、当社メンタル相談全体の約10分の1に相当します。相談者（相談してきた人）は働く人本人がもっとも多く、全体の3分の2を占めています。性別では女性が全体4分の3、年代では40代、次に50代が多くなっています。こうした相談者の属性の傾向は通常の相談と変わりません。

相談内容としては、「不安全感」に関するものが全体の約半数でした。その他の相談内容として、生活への影響、家族関係の問題、業務への影響、症状がある、高リスクな行動による感染不安、感染対策について、コロナ差別といった具体的な内容もありますが、当初はやはり得体のしれない対象に対する『不安』が大きかったことを反映しているように思われます。

コロナ禍が始まった当初の具体的な相談事例には、以下のようなものがあります。

- ◎特定多数の人と接する業務の為、不安が強い。職場で最初の感染者になることへの恐怖感がある。
- ◎感染が怖いので我慢していたが、薬が無くなったので仕方なく受診した。受診した病院の感染対策が不十分に思え、帰宅後に新型コロナウイルスに感染したのではないかと不安がある。
- ◎異動直後に、感染症対策のため在宅勤務となり、上司や同僚と十分関係ができないままで、業務のサポートが得られにくい状況となっている。メールなどでやり取りはしているものの、新しい業務に対する不安な気持ちなどを気軽に相談できないことがつらい。
- ◎キャリアアップのための資格取得を目指していたが、試験が延期となり学習のモチベーションを保つことが難しくなっている。

現在では、ウイルス感染に対する不安はまだまだあるものの、症例を通じて感染症対策はある程度不変のものとなってきました。対策の大きな柱が教示され、定着してきたように見受けられます。しかし、当初は我々自身が獲とした不安に囚われていたことを思い起こします。

さて、それから1年後の2021年4月～6月3カ月間のコロナに関する相談は、弊社相談室では約150件となりました。5カ月と3カ月という期間の違いがあるのですが、1ヶ月あたりの件数で比較すると、2年前の当初が1月あたり約100件、1年を経た2021年には約50件と半数に減っているのがわかります。相談内容としては、「新型コロナウイルスに罹患した」という内容や、ワクチン接種に関する相談が新たに登場するようになります。

- ◎新型コロナウイルス感染症に罹患した。予防に力を入れていたにもかかわらず感染したことに納得できない。そんな不運な自分には今後も悪いことが起きるのではないかと将来にも不安を感じている。
- ◎新型コロナウイルス感染症が怖い。早くワクチンを打ちたいが、年齢的に予約がまだできない。恐怖と焦りでマイナス思考になっている。

一方、健康相談に寄せられる新型コロナウイルス関連の相談も、その時々のおかれしている状況を色濃く反映しています。コロナ禍が始まった当初は、症状に関する知識や、感染症そのものに対する不安、予防についての相談が中心でしたが、ワクチンの話題が報道されると、ワクチン接種に関する相談や、副反応に関する不安と相談、ワクチン接種を受けるべきか否かといった相談が主流になります。いわゆるウイルスや病気に関する知識は、我々のまわりに豊富にあり、容易に取得することができます。ただ、それを自分固有のケースに当てはめたり、自分の得た知識について不安や不明な点を再確認するといった行動が健康相談には表れていると言えるでしょう。

当社では、ストレスチェックも提供していますが、それらの結果にもこのコロナ禍が影を落としていることは言うまでもありません。通常ストレスチェックに加えて、企業によっては独自のアンケートを付加される場合もあります。そういったアンケートを通じて、在宅勤務が続いた結果の従業員の行動変化や、生活上の変化の有無なども経年で明らかになってきているところです。

コロナ禍であっても、いやコロナ禍だからこそ従業員の健康・生産性の向上を目指す、『健康経営』の視点を取り入れたストレスチェックを提供しています。

在宅勤務の推奨、マスク飲食など我々の生活、働き方を大きく変えたコロナ禍ですが、それによって我々 EAP に従事する側のサービスも変わっています。皆さまもそれぞれに対応されていることと思います。そうした情報を EAP 従事者間で交換し、対応のブラッシュアップをはかっていく必要を強く感じています。

れ  
本自由投稿ページでは  
皆様からの寄稿を募集  
しています！！



### ●●● 令和 3 年度第 3 回研修会 ●●●

## 「第 2 回 EA プロフェッショナルの会 online」

- 主催：日本 EAP 協会研修委員会
  - テーマ：2021 年度全体テーマ「今、産業援助職に求められているもの」  
第 2 回テーマ「内部 EAP の支援と魅力」
  - 話題提供者：坊 隆史先生（東洋学園大学人間科学部）
  - 日程：2022/2/22（火） 19：30～21：00
  - 開催方式：Zoom によるオンライン開催
  - 参加費：無料（会員）／ 1,500 円（非会員）
  - 申込方法：mail にて以下を記載の上、お申し込み下さい。  
①「online 第 2 回参加」と明記、②氏名、③所属、④mail address、⑤携帯電話番号
  - 申込先：eapkensyu@gmail.com（担当：佐藤）
- <注意>非会員の方は、お振込みにて申込完了です。満席の際は研修会事務局よりご連絡いたします。
- ・ゆうちょ銀行: 018（ゼロイチハチ）支店普通口座:8556286
  - ・郵便局からの場合: 記号:10130 番号:85562861 名義「ニホンイーエーピーキョウカイ」
- 申込期限：2022/2/21（月）までにお申込、および振込（非会員のみ）を完了して下さい。
  - 本研修会に関する問合せ：eapkensyu@gmail.com まで

### ●●● 会員の皆様へお願い ●●●

\*当協会ではセミナーのご案内等メールでの連絡を多く活用させていただいております。しかし、メールをお送りしても届かないケースが増えております。また、郵送の際にも同じケースが増えております。連絡先が変更になった場合は、必ず事務局までお知らせいただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます（「会員情報変更届」は日本 EAP 協会ホームページ「入会案内」<http://eapaj.umin.ac.jp/info.html>より入手できます）。